



第115期 近況報告

2015.4.1 ▶ 2015.9.30



富士急行株式会社

証券コード：9010



関東最大、550万球の光の祭典。

※画像はイメージです。

さがみ湖イルミリオソ



さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト

©P & Co Ltd 2015

CONTENTS

■ ごあいさつ	1
■ FujiQ News	2
■ 新規施設続々オープン!!	
■ 事業別概況	6
■ 連結・単独財務諸表	8
■ 会社概況／株式情報	10
■ 単元未満株式の買取・買増制度のご案内	11
■ 株主優待のご案内	12



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益、雇用・所得環境の改善及び訪日外国人の増加等により緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費は食料品の値上がり等で停滞、景気の足踏み状況が長引くとの懸念がされております。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり、積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の営業収益は270億円（前年同期比4.9%増）、営業利益は39億55百万円（同18.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億21百万円（同20.3%増）となりました。

各事業の具体的な取り組みは、6ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

下半期につきましても、当社グループは、経営理念『いつも「喜び・感動」』に基づき、本年5月に策定した富士急グループ「2015-2017年度」中期経営計画の目標達成に向けて、経営戦略「Integrated『Greater富士山』戦略」を推進し、経営資源の一体化による価値向上を図り、国内外の幅広い客層から多面的な需要を取り込むことで、さらなる企業業績の向上を目指してまいります。

また、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、地域社会への貢献、自然環境への配慮など、企業の社会的責任を果たすとともに、安全を全てに優先し、お客様に「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月
代表取締役社長 堀内 光一郎



見どころ
「其の一」

日本情緒あふれる景色が広がる
日本庭園



見どころ
「其の二」

体験型忍者アトラクション
「忍者からくり屋敷」&「忍野手裏剣道場」

見どころ
「其の三」

忍野の名水と富士山麓の
地元食材を活かした「食事処」

▶ 富士山を一望する日本庭園と忍者アトラクション、食事処、茶処、売店から成る忍者テーマビレッジ「忍野しのびの里」を10月10日にオープンいたしました。

外国人観光客やお子様に人気の「忍者」をテーマにしたアトラクション（忍者からくり屋敷、忍野手裏剣道場）や忍者パフォーマンスを体験できるとともに、日本庭園では季節の花木や「お地藏さんの小道」など、四季折々の日本情緒あふれる景色がお楽しみいただけます。また、食事処では、富士山の伏流水に育まれた忍野村の名物である蕎麦や豆腐を中心に、富士山麓の野菜や魚など地域の食材を活かした地元の伝統食や日本料理を野趣に富んだ盛り付けでご提供いたします。





「Les Rêves Salon de THÉ」(レレーヴ サロン・ド・テ)

▶ 富士急ハイランド隣接の「リサとガスパール タウン」内に、富士山の絶景と共にパティシエの特製スイーツやアフタヌーンティが楽しめる「Les Rêves Salon de THÉ」(レレーヴ サロン・ド・テ)を、8月12日にオープンいたしました。

「Les Rêves Salon de THÉ」(レレーヴ サロン・ド・テ)は、富士山・富士五湖エリアを訪れる全ての女性に楽しんで頂くために「本物」にこだわったスイーツカフェで、まるでパリの劇場のような豪華な内装のイートインスペースでは、富士山を正面に眺めることができます。



©2015 Anne Guzman & Georg Hallensleben / Hachette Livre



フジヤマ スカイ バルコニー

▶ 富士山の目の前に立地する「ハイランドリゾート ホテル&スパ」の屋上に、絶景ウォークアトラクション「フジヤマ スカイ バルコニー」を10月24日にオープンいたしました。

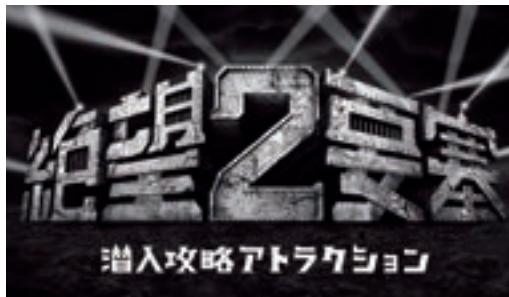
「フジヤマ スカイ バルコニー」は、富士北麓エリアで最も高い建築物である12階建てのホテル「ハイランドリゾート ホテル&スパ」の屋上(地上約48m)で、ダイナミックな富士山と爽快なスリルを楽しむことが出来るウォークアトラクションで、壁や柵などの視界を遮るものが無いホテルの屋上をハーネス(安全装置)を装着し周回していただきます。



真正面にそびえ立つ富士山の姿はここでしか見ることができないオンリーワンの絶景。

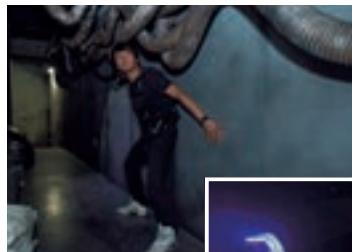
肌で風を感じながら、富士山の山頂から裾野まで見渡せる唯一無二の眺望をご堪能いただけます。コース中、富士山が美しく映えるベストスポットではスタッフがグループ毎に記念撮影を実施。富士山をバックにした写真はすぐに現像し、専用台紙に入れて記念品としてお持ち帰りいただけます。





▶ 脱出迷宮アトラクション「絶対要塞」のミッションテーマを「脱出」から「潜入」に変更して、「絶対要塞2」として7月25日オープンいたしました。

挑戦者が侵入する先は、理不尽な理由で人々を捕え続け、一度足を踏み入れると二度と外に出ることができないという要塞。この要塞を崩落させるためには、カメラによる監視や、様々な待ち構えるトラップをかいくぐり、要塞を崩落させるための秘密のミッションをクリアしなければなりません。さらに今回、富士急ハイランドでは、潜入防止に万全を期すため、セキュリティ大手「ALSOK」の自律走行型警備ロボットを緊急配備し、「絶対に潜入させない」ことに執念を燃やし挑戦をお待ちしております。



立体迷路「トーマス・サーカス」

▶ 「きかんしゃトーマス」原作誕生70周年を記念して、富士急ハイランド内「トーマスランド」に新しく、立体迷路「トーマス・サーカス」を7月25日にオープンいたしました。

立体迷路「トーマス・サーカス」は、ソドー島にやってきたサーカス団の荷物をトーマスとジェームスが運ぶシーンを舞台に、トーマスとなかまたちのスタンプを集めながら、頂上のゴールを目指す3階建ての立体迷路です。迷路の頂上では、集めたヒントを使って答えるクイズが子供たちを待っています。またアトラクションのまわりには、トーマスとジェームスの大きなモニュメントが置かれるほか、サーカス団や動物たちの装飾が施され、子供たちが遊びまわって楽しめる賑やかなゾーンになります。



© 2011 Gullone (Thomas) Limited

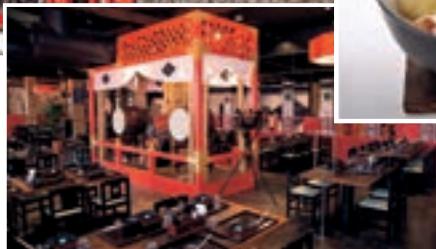
甲斐宝刀信玄館

 富士急ハイランド

▶ 7月10日に大型戦国テーマレストラン「甲斐宝刀信玄館」をオープンいたしました。

増加する外国人のお客様に戦国文化に触れ楽しんでいただくとともに、日本の「食」を味わっていただくためのレストランで、富士急ハイランドがこれまで絶叫マシンやオリジナリティのあるアトラクションに込めてきたエンタテインメント性を、レストランにおいてもご満足いただきたいという思いから開業いたしました。

戦国時代の合戦場にいるかのようなレストラン「甲斐宝刀信玄館」で、戦国最強の武将・武田信玄さんながらに「ほうとう」を味わい、FJQの食のエンタテインメントをお楽しみ下さい。



絶凶・戦慄迷宮

▶ 7月25日、お化け屋敷「最恐戦慄迷宮 —暗黒病棟—」をリニューアルし、『絶凶・戦慄迷宮』としてオープンいたしました。

今回のリニューアルでは、人間の感じる恐怖を徹底的に追求しました。真っ暗な闇を歩く「暗闇通路」、逃げ場のない「監禁部屋」を新設し、闇、音、温度、におい、圧迫感など、人間の本能的な恐怖を体験できます。一番の絶凶ポイントとなるのが、歴代最恐の最終部屋「巨大人体実験室」。過去最大規模の広さの中を、いつどこから襲われるかわからない極限状態の恐怖心に苛まれたまま進まなければならず、パニック状態になること必至です。また、「絶凶・戦慄迷宮」に隣接して、サウンドホラーアトラクションがオープンいたします。ヘッドホン装着し、真っ暗な暗闇の中、前後・左右・上下の360度から聴こえてくるリアルなサウンドで、襲われる恐怖を体感して頂きます。





運輸事業

33%

富士山の世界文化遺産登録から3年目の今期は、鉄道事業、バス事業とも引き続き増加する外国人観光客の受け入れ態勢の強化に努めました。

鉄道事業では、土休日限定で運行している成田空港駅から河口湖駅を直通で結ぶ「成田エクスプレス」において8月のお盆期間に増発しました。また、

JR東日本と連携し、JR中央線、富士急行線と富士五湖周遊バス、路線バスが2日間フリーとなる新たな企画乗車券「富士五湖ぐるり乗車券」を9月15日から発売開始しました。

乗合バス事業では、河口湖周遊バスの運行間隔を20分から15分に短縮するほか、富士山世界遺産ループバスを外国人に人気の高い「河口浅間（あさま）神社」と「忍野八海」をダイレクトで結ぶ経路に変更しました。

高速バス事業では、圏央道の開通に伴い、神奈川方面からの誘客を目的として、8月に「町田・橋本～富士五湖線」及び「藤沢・辻堂・本厚木～富士五湖線」の運行を開始し、「福岡・北九州～静岡・富士山・富士急ハイランド線」においては富士急ハイランドセット券の販売を開始し、グループ施設への送客に努めました。

貸切バス事業では、安全コストを運賃に転嫁した新運賃制度により、引き続き増収となりました。また日本バス協会が主催する貸切バス安全性評価認定制度において、最高評価である3つ星をグループ会社6社が認定を受けました。

ハイヤー・タクシー事業においては、ハイブリット車両を導入し環境負荷の軽減と燃費削減に取り組みるとともに、車両に「コーナーセンサー」を装着し、事故の削減に取り組みました。

以上の結果、運輸事業全体の営業収益は94億99百万円（前年同期比8.3%増）となり、営業利益は17億12百万円（同77.9%増）となりました。



富士山世界遺産ループバス

不動産事業

5%

不動産販売事業では、引き続き富士急山中湖畔別荘地で大人の趣味・嗜好を追求できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズの販売や、「山中湖の森シリーズ」の分譲土地の販売を促進しました。また、Webサイト「フジヤマスタイル」に別荘ライフの上質かつ有意義な時間の過ごし方・考え方についてご紹介するコラム「フジヤマクロスロード」の連載を開始し、お客様への訴求効果を高め、注文建売別荘の受注および商品土地の販売に努めました。

別荘地管理事業では、別荘オーナーを対象に各種イベントを充実させたほか、「夏季オーナーズバス」の利便性を高めるなど、CSの向上に努めました。

不動産賃貸事業につきましては、施設の改修などを行い、安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業全体の営業収益は14億1百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は3億27百万円（同24.6%減）となりました。



「くつろぎの森」(※イメージ)



レジャー・サービス事業

50%

遊園地事業では、7月に「富士急ハイランド」において「絶凶・戦慄迷宮」、「絶望要塞2」等人気アトラクションのリニューアルや、甲斐の名将武田信玄をテーマとした戦国レストラン「甲斐宝刀信玄館」をオープンするなど、集客アップに努めました。また、9月の大型連休に開催された人気グループAAA（トリプルエー）の屋外ライブにあわせた園内のコラボ企画を実施し、集客アップと増収に努めました。

富士急ハイランドに隣接するテーマパーク「リサとガスパール タウン」では、8月に、富士山の絶景とパティシエの特製スイーツが楽しめる全席富士山ビューのスイーツカフェ「レ レーヴ サロン・ド・テ」をオープンし、集客アップに努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に「はねるアスレチック「ふわふわカーニバル」」をオープンさせました。また、咲き誇る花々と、富士山との競演を楽しめる花イベント「富士山の裾野天空のダリア祭り2015」のほか、愛犬と一緒に園内を楽しめる「天空のワンワンフェスティバル」を開催し、シニア層のお客様を中心に来場人員を大きく伸ばしました。

「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」では、7月に水遊びエリア「じゃぶじゃぶパラダイス」をリニューアルオープンさせたほか、100万球のイルミネーションイベント「納涼イルミリオン」を開催し話題となりました。

ホテル事業では、4月に富士山駅前に開業した「富士山ステーションホテル」が高稼働率で推移した他、「ハイランドリゾートホテル&スパ」、「ホテルマウント富士」においても、引き続き外国人宿泊者が増加いたしました。

8年目となる富士本栖湖リゾートの「2015 富士桜まつり」（4/18～5/31開催）も、特に海外からのお客様の増加等により、今年も過去最高の来場人員を記録いたしました。

以上の結果、レジャー・サービス事業全体の営業収益は142億14百万円（前年同期比3.2%増）となり、営業利益は19億28百万円（同0.1%増）となりました。



レ レーヴ サロン・ド・テ

その他事業

12%

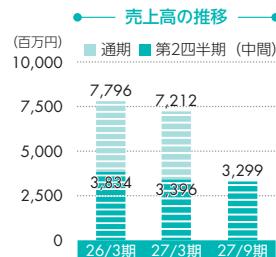
建設業においては、富士急建設株式会社では、公共工事、民間工事とも受注減となりました。

製造販売業においては、株式会社レゾナント・システムズで、ドライブレコーダー、音声合成放送装置などの交通機器販売が堅調に推移しました。富士ミネラルウォーター株式会社では、非常用保存水の販売が減少したものの、500mlペットボトル商品等の販売が好調でした。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は32億99百万円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は8百万円（同80.9%減）となりました。



富士ミネラルウォーター



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		25,705	23,803
固定資産		73,170	72,095
有形固定資産		58,622	57,882
無形固定資産		3,446	3,417
投資その他の資産		11,101	10,796
資産合計		98,876	95,899
(負債の部)			
流動負債		28,911	25,127
固定負債		45,685	48,344
負債合計		74,597	73,471
(純資産の部)			
株主資本		20,949	19,148
その他の包括利益累計額		2,588	2,569
非支配株主持分		739	710
純資産合計		24,278	22,428
負債・純資産合計		98,876	95,899

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業収益		27,000	25,743
営業費		23,045	22,415
営業利益		3,955	3,327
営業外収益		144	165
営業外費用		432	479
経常利益		3,667	3,013
特別利益		96	472
特別損失		164	441
税金等調整前四半期(中間)純利益		3,599	3,044
法人税、住民税及び事業税		1,151	1,007
法人税等調整額		△23	△12
非支配株主に帰属する 四半期(中間)純利益		49	37
親会社株主に帰属する 四半期(中間)純利益		2,421	2,012

単独財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,642	5,400
税金等調整前四半期 (中間) 純利益		3,599	3,044
減価償却費		2,758	2,635
その他損益等調整額		280	201
資産・負債の増減額		△188	333
小計		6,450	6,215
利息の支払額等		△807	△814
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,163	△3,737
有形固定資産の取得による支出		△3,415	△4,082
その他		252	345
財務活動によるキャッシュ・フロー		△557	△1,804
借入金を増減額		353	△1,190
その他		△911	△614
現金及び現金同等物の増減額		1,921	△141
現金及び現金同等物の期首残高		9,700	9,418
現金及び現金同等物の四半期 (中間期) 末残高		11,621	9,277

単独貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第115期第2四半期 (平成27年9月30日現在)	第114期前事業年度 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		22,790	21,120
固定資産		61,362	60,517
資産合計		84,153	81,637
(負債の部)			
流動負債		25,753	21,717
固定負債		40,619	43,004
負債合計		66,372	64,721
(純資産の部)			
株主資本		16,659	15,947
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,400	3,400
利益剰余金		5,357	4,640
自己株式		△1,223	△1,219
評価・換算差額等		1,121	968
その他有価証券評価差額金		1,121	968
純資産合計		17,781	16,915
負債・純資産合計		84,153	81,637

単独損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第115期 第2四半期 (累計) (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	第114期 第2四半期 (累計) (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業収益		14,407	14,105
営業費		12,041	11,807
営業利益		2,365	2,298
営業外収益		115	157
営業外費用		412	454
経常利益		2,068	2,002
特別利益		71	463
特別損失		144	425
税引前四半期 (中間) 純利益		1,995	2,041
法人税、住民税及び事業税		604	645
法人税等調整額		33	33
四半期 (中間) 純利益		1,357	1,362

会社概況／株式情報



会社概要 (平成27年9月30日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15 (1926) 年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成27年9月30日現在)

取締役社長	堀内 光 雄	取締役	高 部 久 夫
代表取締役社長	堀内 光一郎	取締役	鈴木 木 薫
代表取締役社長	堀内 哲 夫	常務取締役	小林 正 幸
専務取締役	福重 隆 一	監査役	堀田 和 力
取締役	宇野 郁 夫	監査役	岡本 敏 也
取締役	秋山 智 史	監査役	芦澤 久 教
取締役	尾崎 護 次	執行役員	小森 賢 哲
取締役	久代 信 美	執行役員	田 瀬 昌 裕
取締役	佐藤 美 樹	執行役員	廣 嶺 訓 治
取締役	和田 一 成	執行役員	山 田 美 之
取締役	勝 俣 收		

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株 主 数	5,077 名

大株主 (平成27年9月30日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.10
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.90
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	9,724	9.11
朝日生命保険相互会社	6,120	5.73
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
富士急行株式会社	3,016	2.83
日本マスタートラスト	2,594	2.43
信託銀行株式会社 (信託口)		
みずほ信託銀行株式会社		
退職給付信託スルガ銀行口	2,555	2.39
再信託受託者資産管理サービス		
信託銀行株式会社		
日野自動車株式会社	2,506	2.35

(注1) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
 (注2) 富国生命保険相互会社は、上記以外に当社の株式900千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は富国生命保険相互会社が留保しております。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・富国生命保険相互会社退職給付信託口)」であります。
 (注3) みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数2,555千株は、スルガ銀行株式会社が、みずほ信託銀行株式会社に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権はスルガ銀行株式会社が留保しております。

連結子会社の状況 (平成27年9月30日現在)

【運輸部門】

- 岳南電車(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)
- 富士急オートサービス(株)

● (株)静岡ホールディング

- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

【レジャー・サービス部門】

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート
- 相模湖リゾート(株)

● (株)富士宮富士急ホテル

- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)フジヤマ・クオリティ

【不動産部門】

- (株)富士急リゾートアメニティ

【その他部門】

- (株)富士急百貨店
- 富士急建設(株)
- (株)レゾナント・システムズ
- 富士ミネラルウォーター(株)
- (株)富士急ビジネスサポート

その他9社

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取するよう請求できる制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

【お手続きについて】

- 証券会社に口座を開設されている株主様
口座のある証券会社にお問い合わせください。
ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。



当社は1,000株以上ご所有の株主様に株主優待券を発行しております。株主優待については、次ページをご覧ください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-7111（通話料無料）
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券



- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはロープウェイ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)
- 初島航路 (2枚につき1名乗船 (往復))
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)

フリーパス引換券



- 遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト)
- スキー場一日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)

高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、中央高速バス「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、東名高速バス「河口湖～東京・市が尾線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待バス



電車・バス全線優待バス
(表示された持参人1名)

ご優待の内容

枚数

35,000株以上

40枚

6枚

4枚

1枚

20,000株以上

40枚

5枚

4枚

10,000株以上

25枚

4枚

2枚

5,000株以上

15枚

3枚

1枚

3,000株以上

10枚

2枚

1,000株以上

7枚

1枚



長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券☆

ご優待の内容		枚数
ハイランドリゾート ホテル&スパ	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	2枚
ホテルマウント富士		
ホテルマウント富士 プール割引券	20%割引 (1枚につき4名まで)	
富士山ステーションホテル	1枚につき1室室料1,000円割引	2枚
富士宮富士急ホテル	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割引 (1枚につき4名まで)、「ホテルマウント富士」では、食事付入浴10%割引 (1枚につき4名まで) として利用可。	5枚
富士ゴルフコース	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
ゴルフパーク Bandi	パック料金から1,000円割引、土日祝日2,000円割引 (1枚につき4名まで)	
大富士ゴルフ場	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	
ふじやま温泉	入館料 平日大人780円 小人420円 土日祝日 大人1,030円 小人520円 (1枚につき4名まで)	2枚
さがみ湖温泉 うるり	入館料 平日大人800円 小人350円 土日祝日 大人850円 小人350円 (1枚につき4名まで)	
忍野 しのびの里	食事処「雪月風花」5%割引	2枚
PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟 (素泊り) 10%割引、レストラン [FUJIYAMA KITCHEN] 5%割引	
PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんば・パディントンペアキャングラウンド	1枚につき1泊1室10%割引	1枚
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
富士急ハイランドQ-BOWL (ボウリング場)	1ゲーム平日、土日祝日とも410円 (1枚につき4名まで)	
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚



「施設割引券」に、 富士山ステーションホテル・ 忍野 しのびの里 を追加しました!

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日 (3月31日、9月30日) の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行しております。**(3年に1度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyū.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。